

# ● 本会の動き ●

## ☆第18回化学工学会学生発表会 福岡大会てんまつ記☆

さる3月5日（土）、福岡大学七隈キャンパスにおいて第18回化学工学会学生発表会福岡大会が開催されました。学生発表会は、若者の理科離れ阻止と魅力ある理科教育推進方策の一環として、例年、東西に分かれて開催されています。今回は、200名の事前参加に加え、当日参加が54名あり、計254名にご参加頂きました。多くの皆様に本大会に講演を申込み頂いたことに、厚く御礼申し上げます。

一般講演では、159件の講演発表が行われました。一般講演の口頭発表（発表時間10分、討論4分）用の会場（I～Pの8会場）は全てA棟6階に集約し、特別講演もA棟1階の大講義室を使用することで、非常にコンパクトな会場を実現しました。発表は9時30分から昼休みなどの休憩をはさんで16時まで、予定通りに行われました。発表者の所属内訳は、大学111件、高専42件、高校7件でした。特に高校は、地元福岡県の東筑高校をはじめ、熊本県の宇土高校、島根県から浜田高校、益田高校および松江南高校からご発表頂き、活発に議論が行われました。高校生や高専生の発表者にとって、学校を離れての貴重な発表経験として、本学生発表会は理科教育の底辺拡大および進展に寄与するものと考えられます。



高校生発表風景

特別講演は、全ての一般講演が終わった後（16時20分から）、A棟1階にて「自然に学ぶ、自然に任せる機能創製」というタイトルで、福岡大学工学部化学システム工学科の八尾 滋先生にご講演頂きました。のどかな田園風景が実は人間の手加わって初めて維持されていることから始まり、高分子の結晶自己組織化力を有効に利用した生体模倣材料の創生にいたるお話などを非常に分かりやすく、聴衆を楽しくさせる内容でした。特別講演の後、化学工学会の加藤穂慈氏に「化学工学会の『技術者の生涯にわたる教育

支援』活動」と題してお話し頂き、続いて九州工業大学大学院の清水翔太氏によるインターンシップの体験談のお話がありました。その後、表彰式が行われ、16件の優秀賞と8件の奨励賞が、実行委員長 九州支部支部長 柘植義文より送られました。座長ならびに審査員をお引き頂いた先生方には、この場を借りて御礼申し上げます。



授賞式風景

交流会の場所は、A棟の向かいの建物である中央図書館の1階「レストラン 陽だまり」で18時10分から行われました。参加者数は75名でした。交流会は、柘植九州支部長の乾杯の発声で、ノンアルコールでの祝宴となりました。多くの高校生の皆様にもご参加頂き、交流を楽しんで頂きました。終宴前には、次期発表会の幹事校から境先生にご挨拶頂き、中締めとなりました。



交流会風景

最後に、あらためて多くの皆様のご協力により無事に学生発表会を開催できたことに感謝して、報告とさせていただきます。

### 優秀賞受賞者

矢野 雅貴(阪大)

「数値流体解析・離散要素法連成シミュレーションを用いた攪拌槽内粒子挙動の解明」

山本 康平(京大)

「電極反応を利用した低品位炭の有用物質への転換」

西谷 詢太(神戸大)  
「微粒子分散液のクロスフロー過に関する数値シミュレーション」

伊達 弘輝(岡山大)  
「合理的分子デザインによるクッションタンパク質の創製」

木村 遥奈(九大)  
「移植用基材としての脱細胞化ブタ肝臓由来可溶化マトリックスの開発」

井口 博貴(神戸大)  
「導電性高分子を用いたグラフェン分散技術の開発と導電性材料への応用」

片山 菜奈(岡山大)  
「水中に発生させた微細気泡の安定性に対する電解質と固体壁の影響」

中原 真司(徳島大)  
「ゼオライト膜への水蒸気もしくはエタノールの吸脱着挙動の評価」

工藤 優美香(神戸大)  
「高分子基板を用いた有機半導体薄膜光触媒による水の光分解反応」

渡部 菜摘(宇部高専)  
「ボルボックスの遊泳速度解析」

深町 一仁(阪府大)  
「農薬内包PLGA粒子を用いた植物病原菌の防除」

楠井 奎悟(和歌山高専)  
「アニリン分解菌の分離とその特性」

石川 徳知(京大)  
「多孔性配位錯体の未知構造決定とゲート吸着挙動の計算科学的検討」

川島 望友紀(宇部高専)  
「融体超急冷法により合成したCaO-ZnO-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>ガラスの生体活性

に及ぼすP<sub>2</sub>O<sub>5</sub>量の影響」

東出 希実(奈良高専)  
「油脂マイクロ粒子を用いたPickeringエマルションの調製」

地曳 俊紀(九大)  
「カルボン酸およびアミンを導入したナノゲル粒子のpKa評価」

#### 奨励賞受賞者

清水 義之・山本 悠太郎・石飛 希実・岩田 祐樹・持田 真矢・山田 果奈(松江南高校)  
「宍道湖水草電池」

川中 美沙・原 彩音・竹内 瞭依・鈴木 峻・佐々木 瀬奈・平野 謙二(浜田高校)  
「ハッチョウトンボの分散行動に関する研究～トンボはどのようにして山を越えたのか～」

山内 崇弘・妹尾 俊一・大庭 瑞己・結城 千紘(東筑高校)  
「手持ち花火の性能向上と自作による開発」

井元 誠志・米光 裕・奥野 祥治(和歌山高専)  
「ハラタケ属キノコの菌糸体培養と抗菌活性」

福満 和(益田高校)  
「ローダミンBの赤い繭・青い繭」

福満 和(益田高校)  
「クワの葉を含まないカイコの人工飼料の作成」

岡村 響・星野 朱音・福原 佳乃・林田 葵・松本 穂葉美・山崎 祐佳(宇土高校)  
「ヒトの味覚に迫る～糖の定量化を目指して～」

杉本 朱璃・池田 隼人(東筑高校)  
「ポリグルタミン酸を用いた光触媒の水浄化」

(注)優秀賞受賞者の氏名は登壇者のみ掲載

(第18回化学工学会学生発表会福岡大会実行委員会記)